

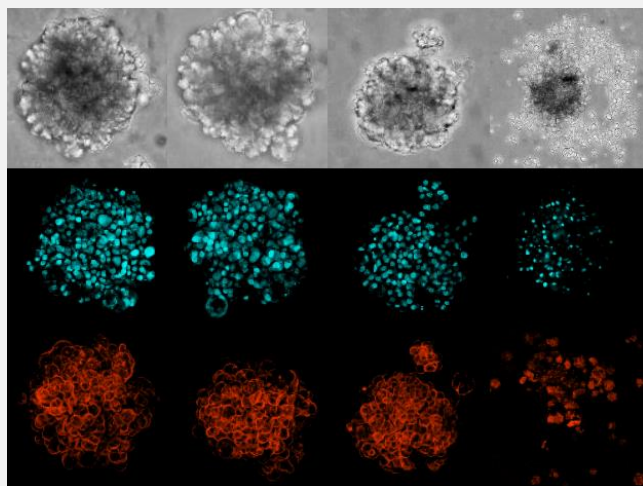
M P S

Series
Webinar

荒川 大 先生

名古屋市立大学 大学院薬学研究科
レギュラトリサイエンス分野 教授画像診断を活用した化学物質誘発性
近位尿細管障害のin vitro評価

薬物を含めた化学物質の曝露は急性腎障害を引き起こす可能性があり、適切な安全性評価が必要である。我々の研究グループではヒト近位尿細管上皮細胞の三次元培養スフェロイド（3D-RPTEC）に着目し、近位尿細管の生理機能を考慮したin vitro評価手法の開発を行っている。本発表ではミトコンドリアなどオルガネラの機能変化を追跡可能な画像診断を活用した化学物質誘発性腎障害の評価事例を紹介する。



日時

2025.10.29 WED 16:00-17:00

形式

ZOOM

費用

無料

お申込み

<https://go.healthcare.nikon.com/l/924973/2025-09-23/2zdf55>QRコードから
お申込み